

85th
沿革
Anniversary

写真でみる徳島



昭和3年2月
徳島本町に『市立実費診療所』を開設
《 徳島県内で最初の公立病院 》



昭和5年4月
中洲に移転
『市立中洲病院』と改称



昭和41年10月
北常三島町に移転新築



平成20年1月
現在の徳島市民病院の開院

市民病院の変遷



昭和 13 年 12 月

新蔵町に移転

『市立市民病院』と改称



昭和 23 年 5 月

寺島本町西 3 丁目に移転



徳島市民病院の概要

- 病床数 339 床
- 診療科目 29 科
- 施設規模 地下 1 階
地上 11 階
(免震構造)
- 診療時間 8:30 ~ 17:00
(外来受付 8:00 ~ 11:00)
- 外来患者数 約 510 人/日
- 入院患者数 約 260 人/日

※参考 県内病院の開設状況

- ・徳島市民病院 昭和 3 年 2 月
- ・徳島大学病院 昭和 18 年 2 月
- ・徳島赤十字病院 昭和 24 年 9 月
- ・徳島県立中央病院 昭和 28 年 7 月

(写真提供 徳島市市史編さん室)

徳島市民病院生まる

徳島市民病院 初代院長 小山 順治

私は大正10年3月大阪医科大学を卒業し、すぐ母校の小沢内科教室に入局し、診療に研究に精根を傾けていた。そして卒業してから7年目の昭和3年の2月に新設の市立徳島診療所長として徳島市へ赴任するように小沢先生に命ぜられた。新設でかつ診療所であるので医師は私1人、看護婦1人、薬剤師1人、書記1人、小使1人という微々たるものであった。所がその当時は徳島市内に公立の病院がなかったという事と診療費が開業医の諸氏より安かったということで門前市をなす繁盛ぶりであった。従ってまず内科の医員を1名増員し、次いで産婦人科を新設し次いで外科、眼科、理学的診療科、小児科、耳鼻咽喉科を増設して7科となり、病室も50床を有する総合病院となった。医員も15人となり、そのほとんどが大阪医科大学卒業生であった。

私が徳島市へ赴任して来た時は、徳島市内に開業している阪大卒業生は4人しかいなかったが、市民病院が出来てからは約20名となり、学友会支部の会合も盛んになり賑やかであった。私が徳島市へ赴任を命ぜられた時は2年だけという事を小沢先生から聞いていたし、私も2年で徳島を引上げようと考えていた。

所が徳島は城下町で人々の人情がやさしく、魚でも野菜でも阪神の兵站基地であるだけあって仲々豊富である。従って住み心地がよいので私もとうとう徳島市に永住する事に決心し、数年前越後から原籍を徳島市に移し、名実ともに徳島市民になったのである。そして市民病院で一緒に勤務していた外科の吉弘博士も、レントゲンの牧野博士も、内科の長坂博士も、小児科の永谷博士も同じく内科の坂本学士も皆徳島市に永住して開業されているのである。いずれにしても徳島市は人情、気候、風物に恵まれた良い所である。

(大阪大学医学部学友会50周年誌より)

徳島市立産院物語

兵庫県洲本市 松本産婦人科医院 松本 敬明

徳島市立産院が消滅して丁度30年、医局の皆様方にも、徳島市民の人々にも、産院が存在したことさえご存知ない方が増えているようです。太平洋戦争敗戦後の荒廃した徳島市において、その果たした役目の大きかったことを思う時、そして最後の院長として、僅かながらも記録を留めておく責があるものと思ひペンを執った次第であります。

場所は寺町本町西2丁目、正面玄関は東向きで県道30号線に面し、北は当時国鉄現JR高德本線の線路、南は橋病院、西は市民病院で、現在は四国文化デザイン専門学校^(*)となっている。((*)は旺文社「徳島県都市地図」による)

開院は昭和27年、木造平屋建30床(後に40数床)スタッフは院長1名と助産婦3名。福祉事業の一環として生活保護者の妊婦を対象として発足、間もなく一般市民の妊婦・分娩を取扱うようになり、病床やスタッフも増加(医員1名、助産婦10数名)分娩数も月間100名を超えるようになった。昭和38～39年市民病院付属産院となり、市民病院の現北常三島への移転に伴いその産婦人科へ吸収の形となり、栄光の幕を閉じた訳である。

市立産院は当時の社会情勢として、また医療環境として、最高のスタッフ・設備を有した分娩場所であり、徳島市民(のみならず徳島県民)にとって重要かつ最適の医療機関であった。と同時に徳島大学医学部産科婦人科学教室としても市民病院と共に数少ない、重要なSitzであった。

初代院長として医局長森井富夫君が就任、分娩数の増加と共に教室員が産直をすること

となり、大学の分娩数が少なかったので、分娩を研修する絶好の補完の場となった。院長はその後ある事情により大阪大学より西本・大橋両先生が就任、その後住吉秀夫君の就任となり、同君の退任に当り諸般の事情から当時市民病院産婦人科医長であった私が兼任することとなった。

開院当時の助産婦は全員開業助産婦であったこと、市当局との対応、そして教室との関係ということで、学問一途であった森井院長の苦悩、ストレスは大きいんだなあと感じたことが何度かありました。一方多数の症例、時には稀有な症例もあり、勉強させて頂いたり、時にはお手伝いさせて頂いたりも致しました。県立中央病院前院長の故井川昭先生、現兵庫医大香山教授も医局員時代には当産院へおいでになって頂いたと記憶している。私の院長時代教室からの出張様式が余りにも目まぐるしく、現在誰方が来てくれているのか分からなかったり、若干のブランクの時間ができて走りまわったこともありました。

エピソードとして、分娩の認識ということ



●
沿
革
●

で市長さんや議員さんと懇談、“一度産直に来てみなはれ”ということで、来て貰った日に限って次々とスムーズに進行、「お産って流れ作業みたいでんなあ」と言われて「産直は議員さんにして貰うとよろしいですなあ」というやりとりもありました。また市民病院の通用門兼産院裏門をくぐり抜ける所にあったワシントン椰子が開院当時小指大から丈なす大木に、丁度産院の発展に平行し、象徴するかのようにあったが、これが助産婦の石原さんの手塩にかけた世話によるものであるこ

とを拝聴、人を育む職業人の真情と敬意を表し、エピソードとして紹介させて頂いた。

昭和41年9月産院は14年の幕を閉じた。

原稿メ切まで日時が少なく、資料蒐集の暇がなかったので殆ど私の記憶で記述した。従ってこれは正史ではなく物語です。誰方がこれを契機として資料を収集し、正史を綴って頂くことを希望するところであります。

最後に助言を頂いた幸田博文先生、貴重な多くの写真コピーを頂戴した石原ワヤ子さんに厚くお礼申し上げます。



附属産院正門前に於て 昭和41.9.26

徳島大学産科婦人科学教室同門会三知会誌の寄稿より抜粋



市民病院に於て 昭和33.6.14

徳島市民病院の沿革

年月	事項
昭和 3. 2	徳島本町1丁目に市立実費診療所を開設 内科のみ診療
3. 5	産婦人科設置
5. 4	中洲町に移転、市立中洲病院と改称
5. 5	外科及び眼科を増設
9. 4	小児科を増設
11. 5	耳鼻咽喉科を増設、レントゲン科を理学診療科と改称し、「ラジウム」診療を併せて行う
13.12	新蔵町2丁目に移転。市立市民病院と改称
18. 4	県立医学専門学校附属病院として無償寄付（敷地 10,475 平方メートル、建物延べ 7,092 平方メートル、病床 150 床）
20. 7	戦災により全焼
20.10	北福島町2丁目の元救護所跡を改装し、市立診療所を開設 小児科及び耳鼻咽喉科の診療開始
21. 4	内科及び外科増設
23. 5	寺島本町西3丁目に移転
24. 5	同地において病院新築工事に着手
24. 9	産婦人科及び放射線科を増設
24.10	眼科を増設
25. 4	市国民健康保険直営診療施設となる
25. 6	病院新築完成
41.10	北常三島町2丁目に新築移転（敷地 13,406 平方メートル、建物：鉄筋コンクリート造、地下1階、地上6階、延べ 11,708.8 平方メートル） 内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、放射線科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚泌尿器科、歯科で開設 病床数 320 床（一般 291 床、結核 29 床）
41.11	救急告示指定病院となる
44. 7	脳神経外科増設
45. 1	隣接の国府町合併により名東病院を引き継ぐ
45. 7	伝染病隔離病舎併設（鉄筋コンクリート造 2 階建て 758.05 平方メートル） 病床数 40 床
46. 4	名東病院を市民病院名東分院と改称
46. 7	名東病院を国府診療所に縮小
47.12	国府診療所を廃止
49. 1	歯科休診
53. 1	病院群輪番制実施
53. 4	内科外来に循環器外来を新設
54. 4	麻酔科新設



昭和 41 年
北常三島町 2 丁目に新築移転



手術風景



看護風景

● 沿
● 革

- 55. 3 新館完成（鉄筋コンクリート造3階建て延べ4,010.8平方メートル、1階診療棟、2階ICU、一般病棟及び手術室、3階管理棟）
病床変更計画(増床)の承認 18床(ICU 6床、一般 12床)
- 55. 7 泌尿器科新設（従来の皮膚泌尿器科を皮膚科に改称）
- 56. 3 病床変更計画（増床）の承認 30床（一般 339床、結核 29床、伝染 40床、計 408床）
- 57. 7 新館増築完成（鉄筋コンクリート造一部4階建て延べ1,456.7平方メートル、1階診療棟、2階病棟、3階管理棟、4階病歴管理室）
- 58. 1 医療事務の電算化
- 60. 4 結核病床 29床を一般病床へ転床（NICU15床、一般 14床）
病床変更計画（増床）の承認 29床（一般 397床、伝染 40床、計 437床）
オープン病床診療開始（一般開業医師との共同診療用 29床提供）
歯科（口腔外科併設）部門診療開始（復活）
- 60. 5 内科に三診制実施（循環器、消化器、高血圧、血液免疫）
- 61. 7 外科に専門外来を実施（甲状腺、乳腺、大腸肛門）
- 61.11 昭和 61 年度全国自治体病院開設者協議会、社団法人全国自治体病院協議会会長から自治体立優良病院として表彰された
- 62.12 開放型病院として承認された
- 平成 元. 2 本館設備改良工事（給排水、空調機器、電気設備等）を 62～63 年度継続事業で施工し、合わせて環境整備工事も完成した
- 平成 元. 5 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術の施設基準について承認された
- 3. 3 外来部門（薬局室外）拡張整備工事（延べ 86.6 平方メートル）を施工した
- 4. 3 MRI 棟新築工事(延べ 307.4 平方メートル)を施工した
- 5. 1 地域医療連携推進室を設置した
- 5.11 夜間看護加算の承認を受ける
- 5.12 特三類看護承認 277 床、土曜休診を実施
- 6.10 新看護基準承認を受ける
- 8. 1 新館部分にスプリンクラーを新設
- 8. 4 CT システムを更新
- 9.12 多目的血管撮影装置を購入
- 11. 3 伝染病予防法の廃止に伴い、伝染病隔離病舎を廃止
歯科診療部門を廃止
- 11. 4 呼吸器内科を開設
- 11. 6 外来患者の院外処方を実施
- 14. 5 体外受精の実施
- 15. 3 新病院基本設計の策定
- 16. 3 新病院実施設計の策定
- 16. 9 新病院建設の着工（本体建築、本体管及び本体空調）
- 16.11 新病院建設の着工（本体電気）



旧病院前風景



旧病院



新病院建築中

- 17. 4 6東病棟（38床）休床
- 18. 3 電子カルテ稼働
- 19. 2 5東病棟（50床）休床
- 19.11 新病院第一期工事竣工
- 20. 1 新病院開院
- 20. 1 リハビリテーション科を開設
- 20. 4 診断群分類包括評価（DPC）対象病院の認可を受ける
- 20.11 地域医療支援病院として承認
- 21. 6 病院機能評価認定を受ける
- 21.12 新病院第二期工事竣工
- 22. 3 新病院外構工事竣工
- 22. 4 がん診療連携拠点病院として認可を受ける
- 22. 6 11階病棟（30床）供用開始
- 23. 4 地域周産期母子医療センターに認定される
- 24. 3 徳島DMA T指定病院に指定される
- 24. 3 災害拠点病院に指定される



現在の徳島市民病院

市民病院の外来・入院患者数

(単位：人)

年 度	外来患者	入院患者	合 計	累 計	備 考
昭和 2	2,350		2,350	2,350	S3年2~3月の実績
3	23,508		23,508	25,858	S3年4~10月の実績より見込む
4	23,508		23,508	49,366	
5	57,749	8,364	66,113	115,479	
6	77,198	13,028	90,226	205,705	
7	69,824	13,709	83,533	289,238	
8	73,089	18,608	91,697	380,935	
9	80,459	19,648	100,107	481,042	
10	133,044	25,947	158,991	640,033	
11	142,736	25,602	168,338	808,371	
12	134,543	24,842	159,385	967,756	
13	125,822	26,514	152,336	1,120,092	
14	126,919	31,305	158,224	1,278,316	
15	127,732	41,776	169,508	1,447,824	
16	123,831	43,357	167,188	1,615,012	
17	92,548	42,875	135,423	1,750,435	
18			0	1,750,435	
19			0	1,750,435	市民病院を県立徳島医学専門学校 の附属病院に寄附 (S18.4)
20			0	1,750,435	
21	10,086		10,086	1,760,521	外来・入院の区分は不明
22	19,574		19,574	1,780,095	〃
23	19,365		19,365	1,799,460	〃
24	20,821	46	20,867	1,820,327	
25	116,659	674	117,333	1,937,660	S24~27の入院患者数は、入院 日数を加算していない実数
26	106,597	969	107,566	2,045,226	
27	124,894	1,060	125,954	2,171,180	
28	0	0	0	2,171,180	不明
29	121,216	31,728	152,944	2,324,124	
30	131,577	37,788	169,365	2,493,489	
31	132,145	38,100	170,245	2,663,734	
32	112,997	44,320	157,317	2,821,051	
33	100,905	44,382	145,287	2,966,338	
34	96,059	45,656	141,715	3,108,053	
35	90,069	43,773	133,842	3,241,895	
36	93,053	49,856	142,909	3,384,804	
37	92,610	51,407	144,017	3,528,821	
38	102,865	65,570	168,435	3,697,256	
39	98,627	66,454	165,081	3,862,337	市民病院事業会計決算書より
40	91,890	54,410	146,300	4,008,637	(以下同じ)
41	97,061	61,571	158,632	4,167,269	
42	123,664	97,316	220,980	4,388,249	
43	128,334	110,460	238,794	4,627,043	
44	149,071	119,676	268,747	4,895,790	

(単位：人)

年 度	外来患者	入院患者	合 計	累 計	備 考
昭和	45	161,334	125,057	286,391	5,182,181
	46	174,292	125,660	299,952	5,482,133
	47	172,369	126,342	298,711	5,780,844
	48	168,541	126,785	295,326	6,076,170
	49	157,026	126,107	283,133	6,359,303
	50	163,764	123,775	287,539	6,646,842
	51	169,083	120,914	289,997	6,936,839
	52	177,855	123,999	301,854	7,238,693
	53	191,640	129,400	321,040	7,559,733
	54	204,064	128,556	332,620	7,892,353
	55	218,517	140,205	358,722	8,251,075
	56	231,995	144,352	376,347	8,627,422
	57	225,303	142,171	367,474	8,994,896
	58	225,410	145,631	371,041	9,365,937
	59	229,392	143,272	372,664	9,738,601
60	245,862	141,577	387,439	10,126,040	
61	259,946	142,422	402,368	10,528,408	
62	264,351	140,390	404,741	10,933,149	
63	267,002	138,340	405,342	11,338,491	
平成	1	273,127	146,657	419,784	11,758,275
	2	281,050	147,481	428,531	12,186,806
	3	265,455	147,452	412,907	12,599,713
	4	270,916	145,826	416,742	13,016,455
	5	266,908	144,762	411,670	13,428,125
	6	247,583	136,456	384,039	13,812,164
	7	258,077	138,346	396,423	14,208,587
	8	262,644	139,806	402,450	14,611,037
	9	260,269	138,413	398,682	15,009,719
	10	256,666	136,368	393,034	15,402,753
	11	248,799	132,019	380,818	15,783,571
	12	252,809	132,260	385,069	16,168,640
	13	236,761	129,005	365,766	16,534,406
	14	208,639	126,296	334,935	16,869,341
	15	202,452	126,064	328,516	17,197,857
16	194,037	119,306	313,343	17,511,200	
17	179,393	107,307	286,700	17,797,900	
18	139,067	96,169	235,236	18,033,136	
19	131,742	87,081	218,823	18,251,959	
20	126,734	91,168	217,902	18,469,861	
21	124,027	89,011	213,038	18,682,899	
22	123,172	96,533	219,705	18,902,604	
23	122,464	94,765	217,229	19,119,833	